

資料2                   ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム  
2019年度事業実施計画

1. 全体委員会の開催

年3回程度開催。

○第1回 2019年4月22日(月) 15時～17時 日本財団会議室

2. 企画委員会の開催

年8回程度開催。

○第1回 2019年5月15日(水) 18時～20時 日本財団会議室

3. 分野別の検討部会の開催

(1) ダイバーシティ就労基本構想構築部会

「働きづらさをテーマにした、新たなダイバーシティ就労支援」制度の基本構想の検討を行う部会を秋以降開催する。

(2) 経済・財政・社会保障収支バランス検討部会

「経済・財政・社会保障収支バランス」と働きづらさを抱える者の就労促進との関係进行分析する部会を開催する。2019年度は、就労困難者数の整理及びいろいろな選択肢があることを前提として、どのような推計方法があるのか等の検討を主として行う。

(3) 海外の状況整理部会

海外の状況及び日本との国際比較を整理・分析する部会を開催する。

2019年度は、海外主要国の、障害者を始め、生活困窮者、その他働きづらさを抱える者に対する就業対策、障害者だけから障害者以外を含む「ダイバーシティ就労化」の動向などを調査し、基礎資料をまとめる。

(4) 「引きこもり、ニート」関連対策検討部会

「引きこもり、ニート」関連での働きづらさを抱える者に対する就労支援策の検討を行う部会を開催する。2019年度は、引きこもりを重点として、社会的自立支援、就労支援等の課題を整理する。

(5) 「障害・病気」関連対応策検討部会（難病患者、精神障害者、がん患者、HIV、高次脳機能障害、若年認知症、依存症等）

「障害・病気」関連での働きづらさを抱える者に対する就労支援策を検討する。  
2019年度は、難病患者（+精神障害者）に対する就労支援方策の課題を重点的に整理する。

(6) 「刑余者等」関連対応策検討部会

刑余者等の本格就労に向け、本格的な体制づくりを検討する部会を開催する。  
2019年度は、現行の支援方策の課題の整理を中心に行う。

4. 有識者ヒアリングの実施

分野ごとの課題、問題点を整理するため、各分野の専門家に対する有識者ヒアリングを実施する。全体委員会、企画委員会、各部会のメンバーには参加を勧誘する。

5. モデル事業の実施

ダイバーシティ就労支援システムの実行可能性を検証するため、全国数か所で、モデル事業を展開する。

6. フォーラムの開催

- 2018年度の事業成果を公表し、ダイバーシティ就労の考え方を広めることを目的としたフォーラムを開催する。 2019年5月15日（水）13時半～17時
- 2019年度の事業成果を公表し、ダイバーシティ就労の考え方を広めることを目的としたフォーラムを開催する（2020年3月を予定）。

7. ホームページを通じた情報提供

- 公益財団法人日本財団ダイバーシティ就労プロジェクト  
「Work! DIVERSITY」ウェブサイト  
<https://work-diversity.com/>

- 一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構  
<https://jodes.or.jp/>